

函館市公式LINEシステムリニューアル・運用等業務委託に係る公募型プロポーザル 質問に対する回答

令和5年5月12日

函館市企画部地域デジタル課

No	資料名 (ページ)	質問	回答
1	<u>プロポーザル実施要領 (1 ページ)</u> ・ 1 業務の概要 (5)契約上限額	<p>ご提示いただいたご契約額は、仕様書記載の公的個人認証サービスに係るシステムに加えて LINE Pay 等の電子決済に係る手数料も見込んだご契約金額でしょうか。</p> <p>また、今回の採択事業者に支払うシステム費以外にもLINE Pay株式会社にお支払いする費用も発生するのですが、その費用も見込んだご契約金額でしょうか。</p>	<p>契約上限額については、採択事業者に支払う経費になります。公的個人認証サービスに係るLINEPay株式会社に支払う費用やLINEPay等のオンライン決済に係る手数料は含んでおりません。</p>
2	<u>プロポーザル実施要領 (5 ページ)</u> ・ 7 企画提案の審査方法および評価基準 (2)ヒアリングの実施	<p>審査方法として、プレゼンテーション実施による評価でなく企画提案書と電子メールによる質疑応答による審査でお間違いないでしょうか。</p>	<p>その通りで間違いありません。</p>
3	<u>仕様書 (3 ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 ア セグメント配信機能	<p>現状の運用で、既に受信設定で登録しているユーザー様の情報を引き継いで運用する事は必須でしょうか。</p>	<p>現在、既に受信設定で登録している情報を引き継いで運用することは必須ではありませんが、可能な限り、登録者の負担が発生しないような情報の引継ぎを想定しております。</p>
4	<u>仕様書 (4 ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 オ 申請機能	<p>LINEから受け付けた申請情報はクラウド上の管理画面で閲覧、CSVエクスポートができれば要件を満たしているでしょうか。</p> <p>または、LGWAN内のPCで情報の閲覧、CSVエクスポートができたり、または管理画面自体をLGWANのPCで操作できる環境も必須必要でしょうか。</p>	<p>LINEから受け付けた申請情報は、クラウド上の管理画面で閲覧、CSVエクスポートができれば要件を満たします。</p> <p>LGWAN内のPCで情報の閲覧、CSVのエクスポートができたり、または管理画面自体をLGWANのPCで操作できる環境は必須ではありません。</p>
5	<u>仕様書 (5 ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 ク メール連携機能	<p>記載にある「宛先となるセグメントは自由に設定することができること。」について、想定される配信ジャンル(セグメント)の数についてご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>現在7つのセグメントを使用しており、現時点では7～10程度と想定しております。</p>

函館市公式LINEシステムリニューアル・運用等業務委託に係る公募型プロポーザル 質問に対する回答

令和5年5月12日

函館市企画部地域デジタル課

No	資料名 (ページ)	質問	回答
6	<u>仕様書 (5ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 ケ レポート機能	仕様にある「作成したレポートのメール送信機能」は必須機能であるかどうかご教示ください。また、保守にて月次でレポートを提出する運用でも宜しいかご教示をお願いします。	「作成したレポートのメール送信機能」は必須ですが、その運用については、月次のほか、こちらが希望する時点でのレポートが提出可能であれば問題はありません。
7	<u>仕様書 (5ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 ケ レポート機能	現在の運用や今後の運用において、どのような項目のレポートニングをご希望されていますでしょうか。	レポート機能については、運用状況や改善点、今後の展開の戦略等を考えるために効果的に活用したいと考えているため、これらを分析できるような項目を希望しています。そのため、一例ですが下記のような視点での項目の個別の集計やクロス集計が必要と考えています。 ・ ユーザ視点 (登録・退会ユーザ数, 年齢や居住エリアなどのユーザ属性等) ・ メッセージ視点 (送信メッセージ数, 受信メッセージ数等) ・ インタラクション視点 (各種リンクやボタンのクリック率, 申請機能利用結果等)
8	<u>仕様書 (5ページ)</u> ・ 5 システム概要・特徴 (2)機能要件 コ 管理機能	LINE公式アカウントマネージャーの機能をそのまま使用できることとありますが、現在利用されている流入経路分析機能は引き続きご使用される想定でしょうか。	現在、利用している流入経路分析機能は、引き続き使用する想定ではありません。